

平成21年度八尾市の未来を語るタウンミーティング

久宝寺小学校区（議事概要）

開催日時：平成21年11月27日（金）午後7時30分～9時20分

開催場所：久宝寺コミュニティセンター 2階 集会室

参加者数：84名（男性50名、女性34名）

市出席者：田中市長、原副市長、阪口病院事業管理者、野村水道事業管理者、中原教育長

配布資料：

- ① 平成21年度八尾市の未来を語るタウンミーティング資料（パワーポイント内容）
- ② タウンミーティングでのご意見への対応状況について（平成20年度）
- ③ 久宝寺小学校区地域レポート
- ④ 市政運営方針（平成21年度）
- ⑤ がんばれ八尾応援寄附金案内チラシ
- ⑥ 路上喫煙防止に関するチラシ
- ⑦ 住宅用火災警報器設置に関するチラシ
- ⑧ 救急車の適正利用等に関するチラシ

1. コミュニティ推進スタッフ（司会）から昨年度のタウンミーティングの状況、地域レポート説明、地域での活動状況等の紹介

2. 市長から市政運営、次期総合計画の構成等についての説明：パワーポイント（配布資料①）

3. 意見交換

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成21年12月現在)
<p>① 集会所の設置について</p> <p>○ 高齢者の生きがいと健康保持のための、活動できる場所がありません。高齢者が気楽に集まり、日常の出来事を話したり、クロリティなどのスポーツが出来るようにして欲しいです。</p>	<p>○ 八尾市には755の町会があり、そのうち集会所をもっているところが約3分の1、残りの約3分の2がもっていないという現状です。現在のところ八尾市にはコミュニティセンターが10箇所ありますが、それを15の中学校区単位で、校区集会所は小学校区単位で必要と考えており、検討課題として調査中です。厳しい財政状況のなか、すぐに実施するのは無理ですが計画的に進めていきたいと考えています。</p>	<p>○ 市民一般の集会及び健全な各種行事の用に供し、地域市民が相互に交流を深め自主的な活動を深めることを目的として、10箇所のコミュニティセンターを設置しています。また、地域活動の推進を図ることを目的として、地域活動の拠点施設として活用される小学校区集会所については、コミセン等の公共の集会施設が整備されていない小学校区から、順次、整備を進めています。</p> <p>さらに、各町会で所有される集会施設につきましては、町会自らに整備いただいておりますが、町会の整備費用負担の軽減を図るため、土地や建物の購入費用及び家賃等に対し補助金を交付していますので、ご理解下さいますようお願いいたします。</p> <p>○ 市内には老人福祉センターが3カ所あり、多くの高齢者が様々な講座に参加されています。高齢者が憩えるところとしては、市内に街かどディハウスが12カ所ありますので、これらの講座や施設を有効にご活用いただけたらと考えます。</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成21年12月現在)
<p>② コミュニティセンターのエレベータ設置について</p> <p>○ エレベータが無いと、階段の上り下りが困難な高齢者や障害者は、コミュニティセンターで催される各種行事に参加できず、参加者も年々減少しています。以前から設置要望をしています。ぜひ新年度予算に組み込んで欲しいと思います。</p>	<p>○ コミュニティセンターのエレベータ設置については公共施設の耐震化計画とセットで考えています。来年度には、全ての公共建物の耐震診断が完了しますので、来年度後半には何年度ぐらいに設置できるかをご説明できると思います。</p>	<p>○ コミュニティセンターはコミュニティ活動や生涯学習の拠点施設であり、施設のバリアフリー化は耐震化とともに、市民の安全安心を確保する観点からも大変重要な取り組みと認識しており、順次取り組みを進めていきたいと考えています。</p> <p>中でも耐震化は市民の生命を守るという意味からも優先的に取り組む必要があると考えています。</p>
<p>③ 障害者の雇用・就労について</p> <p>○ 障害者が生きがいを持って充実した日々を過ごすことができる地域社会を実現しなければならないと思っています。</p> <p>○ 障害者の雇用・就労について、八尾市では国の雇用促進法を踏まえて、これまで企業へは</p>	<p>○ 八尾市では職員採用試験で障害者枠を導入し、昨年度で3名、今年度で2名の職員を採用させていただきました。今後も障害者雇用を率先して行っていきます。また市の行事などで、記念品が必要な場合、通常は入札による契約ですが、八尾市から直接発注できるように障害者団体と随意契約ができる仕組みもつくりました。障害者団体から、物品を購入することによって雇用・就労が改善できれば良いと考えています。</p> <p>○ 就労者雇用の法定雇用率は民間企業で1.8%、行政で2.1%となっていますが、市から民間企</p>	<p>○ 働くこと、就労に向けて励むことは、障害者にとっても、社会の一員として自立した生活を送る一つの手段であるとともに、自己実現にも通じるものです。</p> <p>このため、本市においては、障害者基本計画により、一般就労や福祉的就労の場の確保・充実を図り、障害福祉計画において一定の目標を定めて推進に努めており、福祉的就労においても、本市が発注する業務等を障害者が通所等されている福祉施設に対して業務委託することについて、どのような内容の業務を発注することができるのかなどを、庁内</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成21年12月現在)
<p>どのような指導を行ってきましたか。また、市では何か取り組みを行ってきましたか。</p>	<p>業に達成するように強く推すことは難しいです。現状では、法定雇用率を達成していない企業は違約金を払っていますが、今後は企業名も公表する必要もあるのではと考えています。制度そのものを変えていくことを働きかけ、民間企業の取り組みを促進させることも必要だと考えています。</p>	<p>の関係各課において協議を行い、検討を進めているところであり、早期実現を目指してまいります。</p> <p>○ 本市では障害者雇用への主な取り組みとして9月の障害者雇用支援月間に合せ、大阪府や柏原市、八尾・柏原障害者就業・生活支援センターと共催で障害者雇用の促進に向けたシンポジウムを開催し、事業所啓発の一環として障害者雇用に対する事業主の理解を深めてまいりました。</p> <p>今後とも障害者が雇用・就労し、職場に定着するためには、関係団体・機関の緊密な連携が必要で、シンポジウムの継続とともに障害者雇用に関する事業所の理解・協力を求めてまいります。</p>
<p>④ 歩道を走る自転車について</p> <p>○ 歩道を平然と走る自転車について、視覚障害者や高齢者が困っていますので、大人や子どもたちに対して、自転車マナーの指導や教育をお願いしたいです。特に子どもたちには、歩行者がいるときには自転車を止めて降りること等の指導を学校を通じてお願いしたいと思います。</p>	<p>○ 自転車のマナーの問題ですが、八尾市では自転車利用が多く、それに伴って自転車による交通事故が府下平均と比較して約10%も高い現状です。現在、八尾市では八尾警察署にも協力いただき、各小学校や幼稚園などで、子どもと保護者が一緒に交通マナーを学ぶ取り組みを行っています。今後も交通マナーの向上のため</p>	<p>○ 本市では交通事故の約4割が自転車事故であり他自治体と比較して多い状況であります。そのため、本市では八尾警察署や各種団体と連携して交通安全の普及啓発活動に取り組んでおり、また、幼稚園や小学校など子どもに対して自転車の正しい乗り方をはじめ交通ルールを守るよう交通安全教室の開</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成21年12月現在)
	<p>にも、子ども達と一緒に学んでいく場をつくっていきたいと考えています。</p>	<p>催を通じて啓発活動等を実施しています。今後も引き続き、安全で正しい自転車利用について啓発活動に取り組んでまいります。</p> <p>○ 子どもの規範意識の向上については、家庭での教育が基盤となるものですが、家庭、学校、地域での連携が不可欠だと考えています。特に、子どもの生活場面での大人の行動は、子どもたちの健全育成に大きく影響を与えるものです。とりわけ、交通ルールに関するマナーについては、命にかかわる大切な問題であります。学校でも、さまざまな指導は行っていますが、大人が良い見本になるように、家庭・地域におかれましても、引き続きご協力をお願いします。</p>
<p>⑤ 市立久宝寺保育所の敷地の有効利用について</p> <p>○ 久宝寺保育所は移転を予定していますが、移転後には、敷地を集会所や公園など地域の人利用できる施設にして欲しいです。</p>	<p>○ 地域の役員の方からも、久宝寺保育所の敷地を継続して公共的な利用ができるようにして欲しいとの要望や、敷地についても前面道路との高低差があり、平坦にして欲しいと近隣の方からの要望もありました。</p> <p>○ 保育所施設については耐震が十分ではないた</p>	<p>○ 市立久宝寺保育所は、平成21年度までの運営となっています。保育所施設については、そのまま使用することが困難であるため、平成22年度中に解体する予定です。</p> <p>○ 保育所解体後、土地は、府に返還することと</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成21年12月現在)
	<p>め、そのままでは使用できず、取り壊す必要があります。土地所有者は大阪府ですが、これまでは保育所としての使用でしたので、土地の賃借料は無償でした。しかし、他の目的での使用になると賃借料など、新たな経費が必要となる可能性があります。八尾市としては、引き続き無償で、公園などとして使用できるように大阪府と交渉していきます。</p>	<p>なっていますが、公園等の公共スペースとして利用できないか、府に検討を依頼していきます。</p>
<p>⑥ 携帯電話を利用した、学校からの緊急連絡網導入支援について</p> <p>○ 子どもに対する様々な事件が発生するため、昨年から見守り活動を、全保護者で日替わりで毎日行っています。</p> <p>現在、連絡網は個人情報保護の観点から学級委員が全家庭に連絡する仕組みになっています。今年の新型インフルエンザによる休校の連絡をまわす時には学級委員一人の方に大きな負担をかけました。そのため民間企業による携帯電話のメールを利用して保護者に一斉に緊急連絡を発信するサービスの導入を検討中です。他の学校でも導入の検討を行ったそうですが、どうしても金銭的な問題が発生します。このようなサービス導入を</p>	<p>○ 昨年度のタウンミーティングでも子どもの安全・安心についての意見が多数ありました。子どもの安全・安心を保つための方法としてメールやICタグなどがあります。</p> <p>同様の意見を他の地域からもいただいています。審査などはありますが、ぜひ八尾市地域安全・安心のまちづくり基金を活用していただければと考えています。</p>	<p>○ 携帯電話（メール）を活用した緊急連絡網のシステムについては、一部の学校においてPTAが主体となり導入している例もあります。教育委員会においても、携帯電話（メール）を活用した連絡網については、速報性に優れていると認識しており、基金を活用する方法についても検討を進めていきたいと思えます。</p> <p>○ 安全安心のまちづくり基金については、市民及び事業者等が行う子どもの見守り活動等の継続的かつ計画的な防犯活動に対し、審査会を経た上で50万円を限度に、補助金とし</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成21年12月現在)
<p>市で支援していただけますか。</p>		<p>て交付しています。 なお、詳細につきましては、自治推進課までお問合せいただきますようお願いします。</p>
<p>⑦ スクールゾーンの強化について</p> <p>○ カーブミラーの設置など、子どもの登下校の安全を確保するために、学校周辺の交通安全対策の強化をお願いしたいです。</p>	<p>○ 学校側とも協議をしながらスクールゾーンの強化をしていきたいと思えます。また、カーブミラーについては市に要望していただければ設置可能と考えています。警察に対しても朝の登校時間帯に現地に立つことができないか協議をしてきましたが、警察官の勤務交代が9時となっているため、引継ぎなどで8時頃には警察署に戻る必要があり、対応しきれないというのが現状です。</p> <p>○ 八尾市は今年度にエコカーを6台購入しますが、全て白黒のパトカーと同じ色にしました。パトカーと間違える仕様になっていますので、いろいろな使い方が考えられると思っています。</p>	<p>○ 小学校周辺地域においては、通行する車両へ注意喚起を促すため、道路面や電柱にスクールゾーン表示等を行っています。 表示等に当たっては、学校をはじめ市役所関係部署、警察等との協議、地域の意見を踏まえながら、子どもの安全確保に効果があがる箇所に、表示等を行っていきたく考えています。</p> <p>○ カーブミラーの設置については、つけることにより道路巾が狭くなり、通行障害を起こす箇所もありますので、具体的な箇所の要望をいただきましたら、設置基準や現場状況等を確認の上、設置検討します。</p> <p>○ 久宝寺小学校周辺の通学路における安全対策等については、既に地域の役員の方との協議を図り、現在、八尾警察署と対応策の検討を進めています。</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成21年12月現在)
<p>⑧ 警察官による夜間巡回の協力について</p> <p>○ 育成会、ジュニア会は夜8時から9時の間に頑張って巡回しています。しかしながらこの時間帯以降にも塾帰りの子ども達もいます。週に何日かでも時間帯を見計らって警察官の巡回強化をお願いしたいと思います。</p>	<p>○ 夜間の巡回については警察に申し入れます。しかしながら八尾警察署にはパトカーは5台しかなく、また警察官も少ないため八尾市全域をパトロールしきれていないのが現状です。</p> <p>○ 八尾市はひったくりが多いと言われており、犯罪状況も府下でも悪かったのですが、最近では下がってきています。これも地域で見守り活動をしていただいたり、青パトを走らせていただいたりした成果が数字として表れてきていると考えます。警察とは連携を深めていますので、更に安全・安心なまちづくりを頑張っていきたいと思ひます。</p>	<p>○ 八尾警察署による重点パトロールについては、他の地域からも要望をいただひており、市から八尾警察署の地域課に出向き依頼をしました。</p> <p>その際、警察からは、地域の実情に応じてパトロールを行うことが、より効率的なパトロールにつながると思われるため、最寄りの交番に現状を報告してもらひなり、緊急時には110番してもらひたいとのことでした。</p>
<p>⑨ 少年を守る日の活動方法と地域の教育力について</p> <p>○ 地域の元気と活力には、地域の教育力を高める必要があると考えています。子どもを守る日や社会を明るくする日などは何十年も続いている活動です。継続は力ですが、効果を発揮するには時代に即した地域のニーズにそった活動が必要と考えています。例えば、子どもを守る日の活動を学校の校門前でメ</p>	<p>○ 子どもをしっかりと、またあたたかく見守るために標語的に「家庭・学校・地域」と言われても浸透出来ていないのが現状と思ひています。市政運営方針では子ども支援という視点を強調し、また予算もつける事により、扇風機、LED照明、ICT化、パソコンの入れ替えなど教育環境面での充実をすすめています。</p>	<p>○ 本市におきましては、現在、毎年度、八尾市教育重点目標を定めて、平成21年度においては、「人権と共生の21世紀を担う人間の育成」を基本理念とし、「安全で安心できる学習環境の整備」、「確かな学力(知)、豊かな心(徳)、健やかな体(体)の調和のとれた人間の育成」、「中学校区を単位とした教育</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成21年12月現在)
<p>ッセージをいれたティッシュを配布しながらの挨拶運動に変えるなどにする必要があると思っています。</p> <p>○ 伝統のある久宝寺のまちに、子ども達が愛着を感じるような取り組みを家庭・学校・地域が一体となって取り組むことが重要と思いますが、今、八尾市では子どもの教育について優先していることは何でしょうか。それを参考に地域で知恵を出し合って考え、良いまちづくりをしたいと思っています。</p>	<p>○ 私は、基本的に子どもは人で育てると思っています。来年度には、学校に市単費で人を派遣できないかも検討中であり、学校の先生、教育委員会と一体となり、ニーズにそった市行政を率先してすすめていきます。また、子ども達が地域に愛着を持てるよう歴史性などを学ぶ機会をつくることによって「家庭・学校・地域」と言われてきた事を実践できる体制をつくっていきたいと考えています。</p>	<p>コミュニティの構築」、「生涯学習環境の整備」の4点を重点目標として掲げ、様々な取組みを進めています。</p> <p>○ 毎年11月は「全国青少年健全育成強調月間」と位置づけられており、本市においては、11月5日を少年を守る日・家庭の日として、各種関係諸団体の皆さんの協力を得ながらその啓発事業に取り組んでいます。この啓発事業の目的は、健全な育成への取り組みを全市民の理解と広がりを持って推進することにあるため、行政だけでなく家庭・学校、企業、地域の皆さんの協力を得ることによって、より効果的に推進できるものと考えています。</p> <p>また、今後においても、各地域の実状に応じて、地域との連携を図りながら、子どもたちの安全確保に向けて、積極的に取り組んでまいります。</p>
<p>⑩ 市立幼稚園の3年保育と少子化による統廃合について</p> <p>○ 市立幼稚園について、私立幼稚園と同じように3年保育をお願いしたいと思っています。子ども達のために就学前教育という面もあ</p>	<p>○ 幼稚園のあり方については昨年度から庁内で議論をすすめてきており、現在、児童福祉審議会と幼稚園審議会を開催し、また小・中学校適</p>	<p>○ 市立幼稚園においては、これまで、幼児教育を公私協調、協力体制のもとで取り組んでいくという方針で、3年保育は、私立幼稚園に</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成21年12月現在)
<p>りますが、お母さん達が働きながらも安心して子どもを育てられるためにも、また、ばたばたと子どもが大きくなるのではなく、成長を楽しんでいきたいという願いもあります。このような子育て支援方法も検討していただきたいと思います。</p> <p>○ 子どもが減ってきており久宝寺幼稚園も今は4歳児、5歳児とも1クラスしかありません。子ども達は地域の方にも大切にされ、三世代交流という新しい幼稚園の形も見えてきています。子どもが減ってくれば、幼稚園の統廃合などの話がでますが、広い通園区で無理して通わなければならないという不安</p>	<p>正規模等審議会も開催しています。児童福祉審議会と幼稚園審議会については今年度に答申を出していただける予定です。</p> <p>○ 八尾市には15の中学校、29の小学校、19の市立幼稚園、それ以外にも保育所もあります。これらのあり方をもう一度考えなければならない時が来ると考えています。子どもの人数が少なくなることで集団生活、集団学習が難しくなっている現状があります。申し訳ありませんが統廃合については全体として考えていき</p>	<p>ゆだねているところであります。</p> <p>また、今後も、少子化が進んで3歳児の人口が減少するとともに、保育所への入所児が増えていく中で、市立幼稚園が3年保育を実施するということは、幼稚園の規模が小さくなっていく課題がある状況において、園児数の拡大に直接的につながるとは考えられず、現状よりさらに小さい規模の集団をつくることとなります。</p> <p>さらに、現在の幼稚園の施設規模におきましても、保育室の余裕がない園もあるという現状もあり、3年保育を実施するとなれば、施設の増築等や新たな職員配置が必要になり、さらなる財政負担を伴うことにもなりますので、現在のところは、3年保育を実施することは考えておりません。</p> <p>○ 幼稚園の統廃合については、少子化の進行等により、園児数の少ない園が増えてきており、幼稚園における集団での教育環境の確保が難しくなっています。幼稚園児が家庭という小さな集団から出て、初めて過ごす場所が幼稚園での集団であり、小学校へのスムーズな接続という視点からも、幼稚園での集</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成21年12月現在)
<p>があります。これからの幼稚園はどうかを教えてくださいたいと思います。</p>	<p>たいと考えています。</p>	<p>団でさまざまな経験することは重要です。このようなことから、現在、開催をしています「幼稚園審議会」において、望ましい幼稚園規模を維持するための方策として、統廃合について、検討をしていただいているところです。</p>
<p>⑪ 未成年者の喫煙について</p> <p>○ 自動販売機で買えなくなっても未成年者の喫煙が無くなっていません。たばこの手に入れ方を聞いたところ、家から黙って持ち出してきたり、コンビニで購入したり、信じられませんが保護者が買って子どもに与えるとも聞きました。子どもをたばこから守るのは親や大人の責任と思っています。止めさせるためにも巡回などを続けていますが、市から厳しい処置を保護者や販売業者にできないのか、お聞かせ願いたいです。</p>	<p>○ 喫煙の問題は、マナーを守って吸うのが基本です。未成年者においては法律で禁止されていますので、家から持ち出すのであればご家庭で管理してもらわなければなりませんし、また学校を通じて、あるいは教育委員会を含めて指導体制を強化していくような仕組みをつくっていきたいと考えます。</p> <p>○ 八尾市では薬物乱用防止キャンペーンに力をいれていますが、今後は喫煙も含めて対応していきたいと考えています。販売業者に対しては、たばこの販売店の連盟に協力をいただけるようお願いしていきたいと思います。</p> <p>○ たばこのポイ捨てを禁止するために路上喫煙</p>	<p>○ 未成年者の喫煙は法律で禁止されており、平成20年に自動販売機で未成年者が購入できなくする取り組みや市内の事業所では、「青少年を守る店」の協力をいただき、青少年の健全育成に取り組んでいるところです。</p> <p>また、大人自身の規範意識も低下していることから、「大人が変われば子どもが変わる」をキャッチフレーズに、大人自らが子どもの手本となるよう啓発活動を行っています。</p> <p>○ 子どもの喫煙等につきましては、小学校・中学校ともに保健の授業において、喫煙と健康について学習しています。また、学校園におきましてはPTAにも協力を求めながら敷地内禁煙とするなど喫煙防止を進めています。</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成21年12月現在)
	<p>防止の条例を3月に制定したいということで研究、アンケートなども行ってきました。大人からマナーを守っていただき、この受動喫煙防止条例を核としながら子ども達にも指導できる体制をつくっていきたいと考えています。</p>	
<p>⑫ 大型開発と受益者負担について</p> <p>○ 最近、民間デベロッパーによる大型の分譲もしくは賃貸マンションの建設がすすんでいます。本来、八尾市は生産都市だが消費都市に変わってしまうのではないかと心配です。その中でも一番懸念する事は、人口が増えれば子どもの人数が増え、学校の校舎や教職員を増やす必要が発生します。また、市立病院の患者が増えれば医師や看護師を増やさなければなりませんし、ごみの収集車、消防車も増やすなど、新たに市の財政負担が必要になるのではと考えています。建設工事着工前にデベロッパーと受益者負担などについての協議をする制度はあるのですか。また、今後どのような対応をしていくのかお伺いしたいです。</p>	<p>○ 人口が増えればどうなるかということですが、平成23年度から32年度の総合計画でも人口がどう推移するかが根底になります。現在は27万3千人ですが平成32年には25万人を切るという予測になっています。自治体として八尾市は約30万人の規模が効率的で良いと思っていますので、住宅開発も必要と考えており、八尾全体の人口を考えながらまちづくりを考えていきます。</p> <p>○ マンションを建てれば負担金を徴収できないかということですが、以前は開発分担金として</p>	<p>○ マンション建設及び戸建分譲住宅の建設にあたっては、本市で定めています八尾市開発指導要綱又は都市計画法に基づいて、事業者の負担により道路、緑地、下水道等の公共施設を設置することを義務付けています。事業者は、宅地開発の工事に着手する前に公共施設の設置に関して、八尾市などの公共施設管理者との協議を行い、開発同意又は開発許可を受けなければいけないことになっています。</p> <p>なお、集会所、保育所等の公共施設については開発指導要綱に規定する「公益施設の設置基準」により開発規模の区分に応じて、設置を求めているところです。</p> <p>○ 開発事業により人口が増えることに伴う、公共サービスの維持管理経費の増大について</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成21年12月現在)
	<p>一戸当たり20万円とか30万円を徴収していましたが、開発業者が裁判をした結果、分担金を徴収することは法律違反となりました。よって八尾市も分担金を徴収することを止めました。ただ、規制はどうかといいますと1,500戸以上や一定面積以上の開発には小学校や保育所を造らなければなりません。駅前に建設中の西日本最大級のマンションは1,499戸ですが、八尾市との協議で90人分の認可保育所を設置することとなっています。分担金を徴収することはできませんが、多くの方に居住していただき、税金をあげるということを考えています。</p>	<p>は、行政の責任において負担すべきものであり、開発事業者（最終的には当該開発地の居住者）に負担させるものではないと考えていますので、今後も現在規定している公共公益施設の設置とは別に寄付金等の負担を求めることは考えていません。</p>
<p>⑬ バリアフリーについて</p> <p>○ バリアフリーの問題について、物理的なバリアフリーだけでは解決しないと思います。将来に向かって総計で検討するのであれば、心のバリアをとらなければ、良いまちは出来ないと考えています。</p>	<p>○ 物理的なバリアフリーは当然大事だと思えますが、人権尊重の意識を高めていく必要があると思いますし、人権尊重は、行政のあらゆる分野の基本にあるものと考えています。やさしい心で、その人の人権を守るという気持ちが大切ではないかと考えています。</p>	<p>○ 本市では、「あたたかい心でまじわり、人間愛をもってお互いの人権を尊重することが大切である」とする八尾市人権尊重の社会づくり条例のもと、第4次総合計画においては都市づくりの基本理念の一つとして「人権が尊重され、共生の心あふれる人間都市づくり」を掲げ、人権尊重のまちづくりを進めてきました。</p> <p>次期総合計画につきましても、各分野を横断的に取り組む施策として位置づけ、市民の皆</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成21年12月現在)
		<p>様や地域との協働により、すべての人の人権が尊重されるまちづくりに取り組んでまいりたいと考えています。</p>
<p>⑭ 市職員の対応について</p> <p>○ 市の対応が良くありません。先日、友人が介護のことで、市役所に相談に行ったところ、「介護の相談員に相談してください。」と言われました。そのようなことは誰にでも言えると思います。市で対応出来ないのならば、せめて「民生委員と一緒に相談に行きましょう。」などの意見を出せるような市職員であって欲しいと思います。</p>	<p>○ 親切丁寧な市役所をめざして、来庁者に毎年アンケートをとっていますが、徐々に改善されていると思っています。しかしながら、今回の状況を聞かせていただき、申し訳なく思います。実態を調査させていただいき、きちっとした対応が出来るように指導していきたいと思っています。</p>	<p>○ 今後も市職員の接遇には、市民の意図を汲んだ迅速丁寧な対応を心がけていくよう研修などを通じて指導育成に努めてまいります。</p>
<p>⑮ 久宝寺のまちの発展について</p> <p>○ 東大阪市弥刀で道路の縁石の高さが3cmと低くなっているバリアフリー道路があります。八尾市にもこのようなバリアフリーの道を優先的に造ってほしいと思います。私もこの久宝寺が好きで、長い期間住んでいますが、この久宝寺が発展してもらえるように</p>	<p>○ 東大阪市の道路は歩道の件だと思いますが、歩道と車道の縁石は国の指導では基本的には高さ5cmとなっています。斜めに削って2、3cmにしているものもありますが、割れやすいという欠点もあります。しかしながら、自転車や車椅子で上がりにくいという事実もありますの</p>	<p>○ 現在、駅周辺の歩道を中心にバリアフリー化を進めており、交差点部の段差は2cmで施工しています。車両出入口については、5cmが基準となっていますが、現場の状況により柔軟に対応していきたいと考えています。</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成21年12月現在)
<p>して欲しいと思います。</p>	<p>で、八尾市でもなるべく段差の低いものを使っていくように考えているところです。全てをすぐには出来ませんが、計画をたてながら順次すすめていきたいと考えています。また、特にひどい箇所は部分的に改善できることもあると思いますのでお聞かせください。</p>	
<p>⑩ 今後のタウンミーティングについて</p> <p>○ これまでの我々の意見を市長は聞くだけなのか、実行してくれるのか、それとも反故にするのかを聞かせて欲しいと思います。また、今後もこのような会合が継続され、我々の意見を十分に聞いてもらえるような市政を行って欲しいと思います。</p>	<p>○ 決して反故にする気もありません。しっかりと話をお聞きして、実行できるものから実行していきたいですし、時間がかかるものもあると思いますが、実行に向けて頑張りたいと考えています。来年のタウンミーティングはどうあるべきなのかは庁内でも議論しています。今後は「何でもいわん会」など地域で実践していただいているものもありますので、そこへ行政も入らせていただき、5年間の地域別計画として作り上げて、順次すすめていくことが一番大切だと思っています。これからもこのような話を聞かせていただいて、一緒に八尾のまちをつかっていきたいと考えていますのでよろしくお願い致します。</p>	<p>○ タウンミーティングを開催することで得られた地域の方々のご意見や課題などについては真摯に受け取め、今後の市政運営に反映していきます。</p> <p>○ 地域のから頂いたご意見や課題については、来年度策定します地域別計画の中で検討していければと考えています。</p> <p>○ 課題や要望への対応については、厳しい財政状況の中、全体を考えて取捨選択し、必要なものや緊急性の高いものから順に対応していきたいと考えています。</p>